

## 「台風通過後の農作物等の技術対策」



### 1. 水稻

- ・滞水している場合は、速やかに圃場の排水に努める。
- ・成熟期に達し、倒伏した稲はできるだけ早く刈取り、品質低下の防止に努める。特に、穂発芽しやすい品種には注意する。
- ・収穫までに日数がある場合は、倒伏した稲を無理に起こすことで、さらに被害を大きくする恐れがあるため、穂を茎葉の上に乗せる。株際を調べ、折損していないようであれば、5~6株ずつ緩く束ねて、立て寄せてもよい。

### 2. 野菜・花き

- ・滞水している場合は、速やかに圃場の排水に努める。
- ・液肥(500~1,000倍)を施用し、草勢の早期回復を図る。
- ・雨風による傷から、雑菌が侵入し、病害の発生が予想されるので、こまめに観察し、発生初期に防除する。
- ・収穫可能なものは、速やかに収穫し、また、播種直後で発芽不良の場合は、直ちに播き直す。
- ・土砂の流入や作土の流出等の被害を受けた場合は、排水後、異物や被害作物等を片付けるとともに、土壌が固まらない程度に乾いたときに耕うんし、通気性を高め、作付けする作物が安定して栽培できるように努める。



※平成30年8月31日 京都府農林水産技術センター農林センター「9月の高温、少雨及び台風に伴える農作物等の対策」農業技術情報(第3号)より抜粋

### —TAC information—

台風通過後には、病気に注意!



#### 菌核病



20℃前後で多湿時に発生が多い。下葉の葉柄基部近くに水浸状の病斑ができ、その後白い綿状のカビが発生し、末期にはネズミの糞状の黒色菌核が現れる。

#### べと病



15度前後の春や秋の降雨の多いときに発生が多い。湿度90%以上で発病。栽培面では、密植をさけ風通し、排水を良くし、窒素を多用しない。

#### 軟腐病



降雨が多いときに発生する細菌病。ブロッコリーでは花蕾の一部が水浸状になり、その後アメ色になる。追肥過多で助長される。

菌核病	アミスター-20フロアブル、カンタスドライフロアブル、スミレックス水和剤、ロブラール水和剤、トップジンM水和剤、ベンレート水和剤など
べと病	アミスター-20フロアブル、アミスター-オブティフロアブル、リドミルゴールドMZ水和剤、ランマンフロアブル、レーバスフロアブル、フェスティバル水和剤、フォリオゴールドフロアブル、ダコニール1000、ペンコゼブフロアブルなど
軟腐病	銅パーシク水和剤、Zボルドー水和剤、キノンドー水和剤、スターナ水和剤、ジーファイブ水和剤など

※農薬の使用前には、ラベル等で登録内容の確認を行って下さい

# JA 2019年産米



## 集荷特別対策を実施中!

JA京都中央では2019年産米買入価格にJA独自の「特別集荷対策費」を盛り込み、集荷数量の拡大に取り組みます。農家所得の増大を目指し、生産農家を支援するため、引続き特別に助成することとなりました。

組合員様で、契約のない方でも出荷可能ですので、最寄の支店又は経済センターまで、お気軽にご相談ください。

なお、契約者の方は、**随時追加出荷を受付しています!!**



JA京都中央

